



平成30年1月23日発信

報道関係者 各位

飯山市保育園・学校課題検討委員会からの中間提言

平成29年7月から12月まで計5回開催された、飯山市保育園・学校課題検討委員会（委員長：服部秀人氏）からの中間提言が、1月22日（月）飯山市教育委員会（教育長：長瀬哲）に提出されました。中間提言（保育園のあり方）の内容は次のとおりです。

1 望ましい保育環境

飯山市の子どもたちにとっての望ましい保育環境は、下記のとおりとします。

- (1) 3歳以上児は、集団としての活動の充実を図るため、一定規模のクラス人数が望ましい。
- (2) 3歳未満児は、年齢による発達の差が特に大きく、発達に応じた保育を行うため、できる限り年齢別にクラスを分けることが望ましい。

2 具体的な方向性

望ましい保育環境を達成するため、下記のとおりとします。

- (1) 喫緊の課題として、概ね3年以内に飯山地区の公立保育園は1園とし、施設は「しろやま保育園」とすることが望ましい。
- (2) 飯山地区以外の保育園のあり方については、今後の小学校のあり方や、園児数の推移をみながら検討することが望ましい。

なお、保育園の統合にあたっては、別添の「飯山市保育園のあり方に関する中間意見書」を踏まえ、保護者や地域住民に対し十分説明を行い進めること。